

80

^{67}Ga 肺シンチグラフィーによる肺癌 N(+)症例に対する診断的意義

広島大学第2内科 ○福原典昭 宮庄英明
上綱昭光
放射線部 佐々木正博 加藤良隆
勝田静知
第2外科 児玉 求

＜目的＞ 肺癌において肺門縦隔へのリンパ節転移、とりわけ縦隔への転移の有無は患者の予後を左右する重要な因子である。今回手術によって肺門縦隔へのリンパ節転移 N(+)を認めた症例、肺門縦隔への転移が高率といわれる小細胞性未分化癌例、および胸部レ線で T N M 分類における N_2 を確認し得た症例に対して、 ^{67}Ga 肺シンチグラフィーを行ない、本法による肺門・縦隔リンパ節転移の診断的意義につき検討したので報告する。なお ^{67}Ga 肺シンチグラムで、例えば気管・気管支リンパ節と肺門リンパ節の明らかな区別は困難なため、T N M 分類による N_2 、 N_1 は一括して N(+)とした。

＜検査対象＞ 手術症例は扁平上皮癌 32例、腺癌 17例、大細胞性未分化癌 3例、小細胞性未分化癌 1例の計 53例である。非手術群としては小細胞性未分化癌 22例、胸部レ線上明かに N_2 を確認した症例 12例の計 34例である。

＜成績＞ 手術により N(+)を確認した症例で ^{67}Ga -citrate のとりこみのなかった症例は 27例中 8例であり、29.6%が false negative であった。手術によって N(-)であった症例で ^{67}Ga -citrate のとりこみがみられた症例は 26例中 8例であり、30.8%が false positive であった。次に手術群での N(+)症例で胸部レ線上 N(+)と読影した症例と、N(-)と読影した症例とに分けてみると、胸部レ線上 N(+)の症例では 13例中 1例 8.3%、胸部レ線上 N(-)の症例では 14例中 7例 50%が false negative であった。非手術群のうち、小細胞性未分化癌では胸部レ線上 T N M 分類で N_2 は 18例、 N_1 は 4例であったが、 N_1 症例のうち 1例に ^{67}Ga -citrate のとりこみがなく、22例中 1例 45%が false negative と考えられた。次に胸部レ線上明かに N_2 を確認した症例 12例では 2例 16.7%が false negative と考えられた。

以上、 ^{67}Ga シンチグラフィーにて術前に胸部レ線上の盲点である肺門・縦隔リンパ節転移の有無を検索したが、本検査法は手術症例からは false negative, false positive の症例が比較的多いため、リンパ節転移の確かな判断に困難を感じた。しかし肺癌末期の非手術例では false negative の症例が少なく、肺門・縦隔への照射野の決定、予後の判定に有用と思われた。

81

肺癌における ^{67}Ga の取り込みと放射線治療効果との関係

神奈川歯科大学放射線科
○東 与光 志村 彰 関野政則
横浜・警友病院
中村 功 加藤秀夫
川崎市立井田病院 放射線部
鈴木慎二 渡辺古志郎

肺癌に遭遇したとき、それが治療に対してよく反応するか否かが予めわかれば、臨床家としてたいへん便利である。私たちは、 ^{67}Ga シンチグラムからこのことが予測できないだろうかと思い検討してみた。

〔方法〕：組織像のわかった肺癌約 70 例について、 ^{67}Ga シンチグラムの濃度と腫瘍の大きさを計測した。組織像のうちわけは、扁平上皮癌 29 例、腺癌 22 例、未分化癌 16 例、その他特種なもの約 5 例である。 ^{67}Ga シンチグラムの濃度は腫瘍の部分(T)と反対側の正常部分(N)の黒化度を濃度計で 20 箇所測定して、その平均値を求め、T/N 比を求めた。また、腫瘍の大きさは ^{67}Ga シンチグラムと X 線像から大体の表面積をプランメーターで測定した。そして、腫瘍の表面積を横軸にとり、T/N 比を縦軸にとってプロットした。

これらの肺癌の治療方法は、(1)放射線のみ(23例)、(2)薬物のみ(18例)、(3)両者の併用(18例)、(4)手術のみ(6例)、および、これらの併用(6例)であった。今回は放射線治療した症例の治療効果と ^{67}Ga シンチグラム濃度との関係をしらべた。

〔結果〕：(1) ^{67}Ga の取り込みは一般に腺癌では少なく、扁平上皮癌、未分化癌では多い傾向がみられた。

(2) 同じ組織像で腫瘍の表面積がほぼ同じでも、 ^{67}Ga の取り込みには症例により明らかな差異がみられた。この意味が問題であろう。

(3) 治療効果を著効、有効、やや有効、無効に大別すると、著効は扁平上皮癌と未分化癌に多く、やや有効か無効は腺癌に多かった。また、 ^{67}Ga の取り込みの関係をみると、組織像に関わらず、一般に ^{67}Ga の取り込みの多い症例は著効が多く、ついで有効、やや有効の順であり、治療効果と ^{67}Ga の取り込みには相関があるように思われた。しかし、例外的な症例もあり、今後、さらに症例を重ねて検討したい。